【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第３区分
【発行日】平成26年5月8日(2014.5.8)

【公開番号】特開2014-37055(P2014-37055A)
【公開日】平成26年2月27日(2014.2.27)
【年通号数】公開・登録公報2014-011
【出願番号】特願2013-236396(P2013-236396)
【国際特許分類】
Ｂ２３Ｐ　19/04　(2006.01)
Ｆ０２Ｍ　51/06　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ２３Ｐ　19/04　Ａ
Ｆ０２Ｍ　51/06　Ｕ

【手続補正書】
【提出日】平成26年3月18日(2014.3.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
２部品の結合方法において、
位置決めの必要なお互いの部分を治具で位置決めした状態で、
前記２部品のうち硬い方の部材に設けた角部で軟らかい方の部材をせん断加工し、かつ、
前記角部の側面と前記せん断した面とで前記２部品を嵌合させた嵌合面を有し、
前記嵌合面で仮結合し、
硬い方の部材が内面に段部と内底の中心部にストレート部のある穴とを有する底付きの外筒状部品であり、軟らかい方の部材が中心に貫通孔を有する内筒状部品であり、
前記内筒状部品を前記外筒状部品の段部に載置した状態で、前記内筒状部品の貫通孔に位置決め用のガイドピンを前記外筒状部品の前記穴のストレート部でガイドされるまで挿入して、前記内筒状部品と前記外筒状部品の同芯的な仮位置決めを行い、前記内筒状部品を押圧することにより前記外筒状部品の段部に食い込ませ、食い込ませた嵌合面を溶接して前記内筒状部品と前記外筒状部品とを結合し、更に、前記外筒状部品の内周面と前記内筒状部品の外周面とは、前記嵌合面だけが接していることを特徴とする２部品の結合方法。
【請求項２】
２部品の結合方法において、
位置決めの必要なお互いの部分を治具で位置決めした状態で、
前記２部品のうち硬い方の部材に設けた角部で軟らかい方の部材をせん断加工し、かつ、
前記角部の側面と前記せん断した面とで前記２部品を嵌合させた嵌合面を有し、
前記嵌合面で仮結合し、
柔らかい方の部材が内底の中心部にストレート部のある穴を有する底付きの外筒状部品であり、硬い方の部材が外面に段部と中心に貫通孔を有する内筒状部品であり、
前記内筒状部品の段部を前記外筒状部品に載置した状態で、前記内筒状部品の貫通孔に位置決め用のガイドピンを前記外筒状部品の前記穴のストレート部でガイドされるまで挿入して、前記内筒状部品と前記外筒状部品の同芯的な仮位置決めを行い、前記内筒状部品を押圧することにより前記段部を前記外筒状部品に食い込ませ、食い込ませた嵌合面を溶接して前記内筒状部品と前記外筒状部品とを結合し、更に、前記外筒状部品の内周面と前記

内筒状部品の外周面とは、前記嵌合面だけが接していることを特徴とする２部品の結合方法。